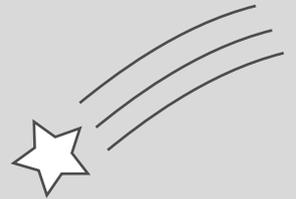


Q1. 去年一番楽しかったことは？

Q2. これから挑戦したいことは？



Q1. 去年の夏休みに二週間ほどドイツへ初めて海外旅行に行きました。前半は普通のツアーのように観光したのですが、後半は広大に来ていた留学生の家へ滞在して、その友達のお父さんにいろいろと案内してもらいました。言葉はあまりうまく通じなかったのですが、ドイツの文化に直に触れることができ、楽しかったです。特にドイツでは人づきあいに対する考え方が日本とは違って、相手がどんな人かに関わらず初対面でも気軽に話せることを体験し、自分の考え方も変わりました。

Q2. 今のところ大学院進学を考えているのですが、その前に一年休学してドイツへ留学をしたいですね。ドイツへ行ったらまず、ビールをたらふく飲みたいです。ドイツのビールは安いし、おいしいし、もう日本の発泡酒なんて飲めません(笑)それは置いておいて、ドイツへ留学してド





齋藤 恵さん 情報行動科学プログラム 15年度生



Q1. やっぱりオリキャンかな。私たちが一年生の時は雨が降っていたから、晴れただけでも嬉しかったし、個人的にはある企画でアヤヤを踊れたり、騎馬戦も初めて経験できたりしたので本当に楽しかったです。でもオリキャンが終わったら、いつも一緒にいる人がいる程度決まってきたので、そこは寂しいところですね。

Q2. 二つあるんだけど、まず一つ目は自分の持っている可能性を引き出せるような力を持つこと。そして二つ目は自分のことをあまり悲観的に捉えるのではなく、未来の自分を想像することによってこれからの辛いこと、苦しいことを乗り切っていくことです。

土持 李恵さん 16年度生

Q1. 学祭の準備が楽しかったです。というのもみんなとより仲良くなれたし達成感もありました。特に準備をしていく中で人脈が増えたことが一番嬉しかったですね。でもテントの装飾なんかは、いざ実際やってみるとなると思うようにいかないこともあって大変でしたよ。

Q2. 実は家庭裁判所の調査官になることが私の夢で、というのも元々心理学に興味があったし、少年犯罪の増加や家庭内に問題の多い今の社会を何とかしたいと思うようになったからです。そのためにも関係のある分野の本を読み、また講演会に参加することによって知識を深めたいと思っています。

(担当 16生 金本和也 田中栄一郎)

プログラム登録は2年次からですので、16年度生のプログラム名は未記述となっています。